レッスン：PYR NO.39

テーマ：創造界の目的と創造の元型

PYR39/KE06KLS1.05/11

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

レッスンの中で創造界は創造の元型｡創造のセルによって築かれたといいました。それは創造界における全ての骨組みであり、Lifeの本質を現しています。

　さて骨組みと言う時、それは最大、そして同時に最小の骨組みであり、創造界が現れるには手段が必要であり、その手段がマインドです。説明したように、マインドは聖霊ではなく、神でもありません。マインドは神からのものであり、絶対存在の本質から来るものです。

　さて、骨組みがあり、骨組みは何かを築くためにマインドを使います。最初に骨組みが必要です…その結果、Lifeがその本質を完全に現わすことができるように。しかしLifeがその本質を完全に現わすためにはフォームが必要であり、そのフォームは実際にマインドの最も精妙な波動からできており、そのフォームが人間のイデアフォームです。

　さて、現れがLifeの本質を完全に現わすためには、このフォームが必要です…それが人間のイデアを通じた現れであれ、あるいは聖霊的イデアを通じて現れであれ。創造界におけるすべての現れは、Lifeの本質を完全に現わすためにはこのフォームが必要です。レッスンで述べたように、人間のイデアを通じた現れはこのイデアを通じて現れましたが、その現れはLifeの本質を完全には現わしていません。

　現在のパーソナリティーはLifeの影です…Lifeの本質を完全には現わしていないからです、しかしLifeの影ですらそれが活性化されるためにはそのスパークが必要です。Lifeが制限ある現れのなかに取り込まれるのは不可能です。そのため人体の中のLifeのスパークは現在のパーソナリティーを活性化します。Lifeのスパークは元型としての現在のパーソナリティーのイデアフォームを有しています。そのようにして、その内側にLifeのスパークを有している現れはLifeの本質を現わしていません。

　しかし、全ての人間の内側におけるそのスパークは決して絶対存在のアウタルキーを離れたことはなく、その本質を完全に現わしています。実際それは神であり、全ての人間の内側における神です。それゆえ、全ての人は一人ぼっちということはなく、自己実現した現在のパーソナリティーですら、内側に神がいるのです。

　創造の元型は創造界における最大の法則であり、この法則のなかに他の全ての小さな法則があると述べました…それらの法則が人間のイデアのための法則、あるいは聖霊的法則、または創造界における他のいかなる現れのための法則であろうとも。

　創造界といいましたが、なぜ創造界があるのでしょうか？どのような理由でそれがあるのでしょうか？神には何か必要性、ニーズがあるのでしょうか？なぜモナドスピリット・セルフが自己実現したそれになる必要があるのでしょうか？神のアウタルキー（＊自足状態）のなかで、神のワンネスのなかにおいて、それが必要なのでしょうか？神がアウタルキーのなかで静止して“留まる”という理由があるでしょうか？

　Lifeの主な特質は何でしょうか？それは活動・振動・波動です。活動・振動・波動、特に活動があると、どのような効果、結果があるのでしょうか？レッスンで述べたように、この活動の結果として自動的にディバインの黙想があり、そしてこれがLifeの主な特質です。活動がなければ、Lifeはありません。ですから、不可避的に結果というものがあり、これが終わることのないディバインの黙想であり、それは神自身の中、神のアウタルキーの中における活動です。

Page2

　さて、ディバインの黙想という活動の結果として、創造界があり、創造界における現れと諸宇宙があります。そして私たち全員がそこに含まれています。私たちはこのディバインの黙想の動きのなかの粒子なのです。実際、今でも私たちは神のアウタルキーの中、絶対存在のワンネスのアウタルキーの中にいるのです。これが創造界*です*、そして全てがこの創造界において活動しています。何であれ実在、存在するものはLifeそれ自体によって活性化されています。そしてあらゆるものの内側には動き、活動があります。もし実在する何かのなかに活動がなければ、それは実在することができません。このテーブルすらも。この骨組み、つまり創造の骨組みがある故に、全ての原子の中には活動、動きがあり、原子は存在し、実在します。

　創造の諸法則について述べました…最大の法則の中により小さな諸法則があると。これら全ての法則はLifeの本質から離れたところにあるのでしょうか？違います。全てはLifeの内側にあります。ですから、私たちの内側にあって、私たちの現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークについてはどうでしょうか？それもまたそのなかに全ての諸法則があるのでしょうか？

　答えはイエスです。ですから、全ての法則、現在のパーソナリティーの法則でさえ私たちの内側にあります。原因・結果の法則も私たちの内側にあり、全ての人のなかにあります。同じことがディバインの慈悲の法則及び他の全てについても言えます。

　私たちの内側にあるLifeのスパークは最大のものより小さいのでしょうか？何であれ私たちが最大と見なすものよりも小さいのでしょうか？私たちの内側にあるスパークは魂のセルフエピグノシスからの微細なスパークである、と述べました。さて、もしそれを絶対存在のワンネスと比較したら、それは小さいでしょうか？Lifeを量とサイズという基準で分類することはできません。Lifeは一つであり、質は同じであり、Lifeはそのなかにある多重性を包含することができ、いわゆる微細なスパークも同時に最大のものとなることができるのです。

　自己実現のステートでは高次ノエティカル体を使いますが、その高次ノエティカル体はLifeのスパークの体と同じであり、その時あなたは宇宙、創造界全体を包含することができ、そして創造界全体はあなたの内側にある微細なものでもあるのです。

　ですから、全ての人の内側にあるLifeのスパークは神であり、このスパークは絶対存在のワンネスの本質を完全に現わしているのです。

　創造界のなかにあるLifeの2つの主な現れについて述べました：人間のイデア、そして聖霊的イデアです。これらは創造界における2つの主な現れであり、勿論、その仕事は人間のイデアを通じて達成され、その方法については説明しました：どのような目的のために達成されるのでしょうか？その仕事の目的は何か、そしてこのディバインの黙想の結果として誰が恩恵をうけるのでしょうか？再び質問に戻りましょう、ワンネスのアウタルキーにおけるスピリットモナドセルフへの、自己実現による恩恵は何でしょうか？神がその結果から恩恵を受けるのでしょうか？

　人間は個別性を得て、他の全ての人の“私である”とは異なる“私は私である”を現すことができます。私たちが個別性を現わす時、神のワンネスのなかで何を達成することができるでしょうか？それなら神は必要でしょうか？私たちがすでにアウタルキーの中にいるのなら、なぜ私たちは自己実現する必要があるのでしょうか？神にとって何が達成されるのでしょうか？

　私たちは自己実現した現在のパーソナリティーとなり、私たちはそれを魂に渡します…その結果、魂が自己実現し、そして後にその魂は神に戻るのです。そして私たちは自己実現したスピリットモナドセルフとなるのです。

　スピリットモナドセルフがワンネスの多重性のなかで自己実現する必要があるでしょうか？そこには目的があるのでしょうか？そうする必要があるのでしょうか？

　理由を説明しましょう。創造界における2つの主な現れについて述べました。一つは人間のイデアであり、それは聖霊的イデアの助けによって達成されます。それら2つはワンネス、神の両手であり、創造の諸世界における神のダイナミックな現れです。勿論、他のイデアを通じて他の現れもあります。ドミニオンがあり、ロゴスがあり、これらの現れは創造界において役割を担っています。惑星ロゴス、太陽系ロゴス、そして銀河、諸宇宙を管轄するロゴス、その他があります。これら全ては自己実現したスピリットセルフからの現れです。そしてこれらは皆、惑星であれ、太陽系であれ、その他であれ、それらの物理的現象を管轄しています。

Page3

なぜ彼等はこれらの現象を管轄しているのでしょうか？これらのロゴスは現在のパーソナリティーの体験をしたことがあります。彼等は個別性を現わした経験があり、彼等は惑星上であれ太陽系、その他における人間であれ、全ての人間に同調し、同化することさえできるのです。そして全ての人間の中における諸法則とつながって物理的現象を生み出すことができます…その結果、人間が同じような体験を受け取ることができるように。そのような理由で、現在でもこの地球上で物理的現象が起きているのです：人間に必要な同じような体験を与えるために、勿論人間がLifeそれ自体からより多くを現わすことが可能になるように、必要に応じてそのようなことを行います。何であれ今地球上で起きていること、それはそれらの現象によって影響を受けるそれら全ての個人の内側にあるLifeのスパークとつながっている、地球の惑星ロゴスの故です、人間が死んでいようと、生きていてそれらの出来事と同じような体験をしていようとも。

　創造界の全ての法則、そして何であれLifeの本質の中にあるものは私たちの内側にあります。なぜなら神は私たちの内側にあり、それは大小には関係ないからです。それは絶対存在のワンネスからです。

　私たちが自己実現した時には創造界を包含することができるか否か、答えはイエスです。その時、全ては私たちの内側にあります。自己実現することによって、Lifeのスパークと“同一”のセルフを現わすようになり、勿論、その同一のセルフは高次ノエティカル体を使います。高次ノエティカル体はそのパーソナリティーがそれ自身を現わすための波動、つまりスーパーサブスタンスの波動と同じ波動を使います。

　高次ノエティカル体は、そのパーソナリティーが引き続き転生のサイクルに留まる場合にのみ分離した体として留まります。さもなければ、この完全に再形成されたサイコノエティカル体がLifeのスパークの体と分離している理由はありません。実際、一つの惑星上における全てのパーソナリティー達はその惑星全体が自己実現に到達するまで他の同胞の人々を助けるために留まります。そしてさらに、自己実現した惑星は他の惑星上の人類を助けるために引き続き奉仕することでしょう。

　惑星ロゴスは同化または同調を通じて、この惑星上の何人かの人間に、あるいはその惑星に所属している全ての人間に必要な、類似した体験を与えることができると言いました。類似した体験とは、それらの人間の益になるために原因・結果の法則が何であれ指示した体験です。一つの惑星を管轄している惑星ロゴスは、一人のパーソナリティーとして人間としての体験を経ています。それゆえに、その惑星上の人間にとって必要なことに“同調し理解”することができるのです。

　それでは、誰が益を受けるのかという問いに戻ります。それはワンネスのステートにある神でしょうか？ひとたび惑星ロゴスがその目的に奉仕したら、惑星は非物質化し、その現れ（＊惑星ロゴス）はスピリットに戻ります。しかし、そのうちに他がロゴス、あるいはドミニオンその他としてそれ自身を現わします。これは活動それ自体のための継続的なプロセスです。それは終わりなき活動です。

Q：ロゴスは元々現在のパーソナリティーだったのですね…

K：彼等が自己実現したのは現在のパーソナリティーを通じてです。最終的にはそれはあなたではなくなります。Lifeのスパークがあなたを活性化し、そしてあなたは自己実現し、その後に魂(Soul)　となり、最終的にスピリットとなります。最内奥のセルフスピリットは実際あらゆるところにあり、今この瞬間でさえ私たちは絶対存在のワンネスのなかで話しているのです。

生命の木によれば、最大のシンボルです。アウタルキーそしてアウタルキーの中の現れに関して。絶対存在のワンネスは、創造のセルの一番上にあるこの大きな三角形によって示されているといいました。しかし同時にワンネスはそれ自体を汎宇宙的キリストロゴスとしても現わしています。それもまたワンネスであり、それは全体です。私たちはアウタルキーを現れのどこか別の場所にあると見なすことはできません。

Q：もしアウタルキーが私たちと離れていないのなら、どうして私たちは多くの点で神から厳しくされていると感じるのでしょうか？

Page4

　K：無知だからであり、現在のパーソナリティーは影であり、Lifeの現象でありLifeそれ自体ではないからです。Lifeの本質を現わしていないからです。Lifeの本質を現わすように努力すべきです。私たちの目的は自己実現を熱望することであり、それによって私たちはLifeの本質を完全に現わすことができるようになります。

私たちは一人ぼっちだと感じるべきではありません。私たちが孤独、一人ぼっちだと感じるのは私たちの真の本質を現わしていないからです。私たちはLifeから分離していると思っていますが、Lifeは私たちの内側にあり、五感を通じてセルフを現わしています。そしてそれらの五感は真の感覚ではありません。それらは真の感覚の影です。そして勿論、真の五感を通じてセルフを現わすようになっても、まだ真の本質を表現するには限界があります。

　真の本質を現わす唯一の時、それは同調に到達する時であり、その時私たちは五感を背後に置いて進みます。しかし、同調ですらLifeの真の本質につながる最も高い質ではありません。最高の質とは同化です。その時初めて私たちは魂のセルフエピグノシスとしてLifeのスパークですら創造界全体を包含することができ、ワンネスの本質、絶対存在の本質としてのLifeの本質を完全に現わすことができると言えます。ワンネスと言う時、それは多重性のステートにおけるワンネス、数というもののない絶対存在のワンネスを構成するスピリットモナドセルフの全体を意味します。

　しかし、あなたが3番目のサイクルに入る時、物事はよりクリヤーになります。そして勿論、人間が4番目のサイクルで自己、セルフを現わす時、これら全ては意味を失います。超意識的意識のセルフエピグノシスを現わすようになると、真の五感を完全に使うようになります。自己実現した現在のパーソナリティーでも、他の普通の人間の中ではその波動を下げて普通のセルフを現わします。そしてそのようなパーソナリティーは、一定の数の人々とより深くつながって、普通の人々を助けることができるように、ごく普通に振る舞います；その人は弱点すら現わします、さもないと一般の人々から受け入れられないでしょう。助けるために交流するためには、一般の人々と同じ周波数の帯域のなかで自分を現わす必要があります。さもないと人々と交流したり、受け入れてもらえないでしょう。

　助ける場合に痛みを体験するのは身体であり、パーソナリティーではありません。なぜなら、他の同胞の人間達の苦しみを軽減するためには、肉体が必要だからです。もし肉体のない状態に留まっていると、他の同胞の人々の苦しみを背負うことができません。

　それゆえに、イエスキリストは十字架に架けられたのです。実際、彼はイエスキリストロゴス絶対存在と呼ばれるべきです。彼は内側のロゴスを現わす自己実現した現在のパーソナリティーの結果ではありませんでした。皆さん誰もが最終的にはロゴスを現わすようになりますが、しかし彼は全体であり、全体としてのワンネスであり、彼は元型としての人間のイデアフォームを提供した天人なのです。

　ある人々が信じるように彼は予言者とかメシアではありません。彼は諸宇宙における全ての人間を活性化するスパークであり、同時に諸宇宙に存在し、実在する全てのものを活性化するLifeの海なのです。彼は人間達に彼等が自己実現に到達した時には他の人々を助けるために何を経験しなければならないか、を見せたのです。そしてそれは全ての人々の道です。

　あなた方は今自分自身のゴルゴダを経験しています、皆さん一人一人が自分自身のゴルゴダを経験しつつあります。しかし、最終的にはあなたのゴルゴダは、イエスキリストが体験したことを経験できるステートへと連れて行くでしょう。誰もそれを避けることはできません。

　Q：イエスキリストは十字架の上で痛みを感じなかったのでしょうか？なぜなら、彼の身体は痛みを感じることができなかったから…。

K：その反対です、他の人々の苦しみを軽減するためには、肉体は痛みを感じる必要があります。イエスキリストの身体は創造界における全ての人間の痛みを軽減するための身体です。そして、どれが彼の身体でしょうか？それらは痛みを軽減することのできる人間達の身体です、それは完全に再形成されたサイコノエティカル体を有する自己実現した結果である身体です。その時初めてあなたは主の名前において誰かの痛みを軽減することができるのです。それは個人的な名前によって行われる仕事ではなく、それは常に主の名前においてサイキカルまたはスピリチュアルなヒーラーが誰かの痛みを軽減しようとするものです。この仕事をしているのは

現在のパーソナリティーとしての自分であると主張することはできません。それを行っているのはあなたの内側にあるスパークであり、主がスパークなのです。

Page5

もしあなたが天人、イエスキリストロゴスの体である元型としての人間のイデアフォームの身体を見ると、それがあまりにも光り輝いているので、それを見ることができないでしょう。それは創造界におけるすべての太陽を一緒にしたよりも輝いています。それ故に、彼はマグダラのマリアに彼を見ないようにと述べたのです。なぜなら、その体からの光によってそれを見るパーソナリティーの視力がダメージを受けるからです。確かに現象的にはその肉体は私たちと同じですが、しかしその中には全体の輝きがあるのです。

　自己実現したパーソナリティーが高次ノエティカル体を使用すると、その人が発する真の波動を見せることなく、ただビジョンとして見えることでしょう。もしあなたがイエスキリストロゴスに会うなら、白いガウンのなかにいる人として見て、彼の顔を見ることはできず、サイコノエティカル体すら見えないでしょう。Lifeのスパーク、それは実際には彼であるのですが、それはあなたの内側にあるのです。

Q：最後の晩餐と聖体拝領の目的は何だったのですか？

K：人間は絶えず、Lifeそれ自体をもっともっとより多く現わすプロセスを継続的に経ています。イエスキリストはこの大いなる神秘を、最後の晩餐と聖体拝領で与えたのです。メタネイア（悔い改め）というものがありますが、それは自分が間違った行為をしたことを認識し、新たな理解と共にそれを懺悔し、二度とそんなことはしないと決め、その結果としてあなたはもっと主を現すようになります。もし教会に行って告白すると、神父から聖体拝領を受けます。これは実際に最後の晩餐で彼が弟子たちに与えたことであり、それが後の人々に行われるようになったのです…人々がそのことを認識していようといまいと。それは聖体拝領のミステリーです。

　パンは身体で、身体は主の血から来ている、つまり身体はより多くLifeそれ自体から構成されるようになり、思考・行動の仕方からの結果をあまり多く経験しないようになる、ということです。なぜなら、もしパーソナリティーがLifeそれ自体からより多くを現わすようになると、それはつまり身体はそれほど多く苦しまなくなるということです。聖体拝領は主からより多くを現わすことができるように助けることであり、その主は実際あなたの内側にあるのです。影であるパーソナリティーはその影をできるだけ小さくしようとし、それはつまりLifeそれ自体からより多くを現わすということです。そして影は影を創造しているもの、つまり私たちの内側にある主の中に入るのです。それゆえに私たちはその人がどのような人であれ、すべての人を平等に抱きしめる必要があるのです。私たちが誰かと向き合っている時、私たちは実際には主と向きあっているのです。

Q：それはつまり、外側に自分を見る代わりに180度回転する必要があるということですか？内側を見て、もう一つのセルフを見るということですか？

K：私たちが諸法則を意味する様々なシンボルを視覚化するとき､私たちはそれを自分の目の前に視覚化するか、または自分がそれらのシンボルの中にいると見なします。しかし、それらにアプローチできるようになるには、これが私たちが従うべきやり方です。

　何であれ最大の中にあるものは最小のなかにもある、これは古代から人間に知られていました…少数の人々の間で。それは何か新しいことではありません。新しいこととは、現在のパーソナリティーがLifeのアベニューに入る助けとなる様々な法則にどのようにアプローチするかを、彼が示したということです。Lifeのアベニューに入ることによって、現在のパーソナリティーの帰還の速度が加速化され、無知から来る痛みを伴う体験から抜け出すことができるようになるのです。

そうです、なぜなら人々は全ての人間の内側にあるリアリティーが何であるかを知らないからです。もしLifeとは何かに気づいていたなら、これらの戦争、これらの衝突は必要なかったでしょう。実際、彼等は何をも提供しませんでした…そのパーソナリティーを静止させておく以外は。

　平和をもたらそうと言う時、それはどのようにして達成できるでしょうか？言葉を使ってですか？まず最初に私たちは人々が内側に平安を持つことができるように助ける必要があります。もし私たちが2つのグループ、あるいは多くのグループが内側で平安を持てるステートに到達できるように助けるなら、より容易にもっと多くの人間または国の間に平和を確立することができるようになるでしょう。

レッスン PYR39 エクササイズ１

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白の自分を見、自分の境界を見ます…あなたは純白のなかにいて､自分の形の境界を感じています…同時に純白の五芒星のなかで守られています…

　深くて快適な呼吸を始めます…息を吸うたびに真っ白なあなたはより白く輝いていきます…息を吐く度に､白いあなたの中のシミが消えていきます…続けます…あなたの中にあった汚点、シミがどんどん消えていきます…

　あなたは今やシミ一つない純白になっています…深くて快適な呼吸を続けていくと､身体全体がくすぐったく感じます…もう呼吸のやり方には意識を向けていません、身体の全ての原子、細胞、分子から呼吸をしているのでくすぐったい感じがしたのだとわかります…今あなたは身体全体で呼吸しています…それを感じます…

　このような呼吸にエネルギーを与え、今やあなたはスポンジのようになっています、つまりエネルギー、エーテルの活力を身体全体から吸収しています…呼吸を続けます…

　さて、この呼吸にエネルギーを与えた今、自分の前に痛みをかかえ、助けを必要としている人を視覚化します…あなたはあなたのアガピの太陽を活性化します…ホワイトピンクの光があらゆる方向に輝いています…その輝きに意識を集中し、その光で目の前にいる人を包みます…あなたのアガピの太陽からの輝きで、痛みを抱えている目の前の人を包みます…その人の痛みが軽減することを祈ります…あなたのアガピの太陽の光でその人を包みます…アガピ、それは実際、主のアガピです…

　アガピ、そして最愛のお方の祝福があなたと共に、あなたの愛する人と共に、あなたの家庭に、そして世界全体と共にあることを願います…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに包まれています。

EREVNS PYR39 KE6S1/11/05